

## 8/23(土) 令和7年度 夏季研究例会

### 研究発表：「竹内文書から読み解く江戸期入膳宿の姿」



研究発表では、鍋谷所長がライフワークとしておられる古文書解読の成果を発表していただきました。竹内文書とは、江戸時代の中期から後期にあたる天明・文政年間の約45年間の入膳村の出来事等を書き留めたものであり、この文書を読み解くことによって、当時の社会情勢や人々の生活が臨場感をもって知ることができたと具体的に説明していただきました。また、「入善」と「入膳」の違いや地名の由来についても知ることができました。

### 講演：「黒部川と地球（ジオ）」



今回は、日本黒部学会の國香正稔会長に「黒部川と地球（ジオ）」の演題でご講演いただきました。講演では、身近な景色を観察することによって地球が丸いこと証明できることや、富山湾から見える夕日が能登半島ではなく水平線に沈む場所があることなど、映像を見ながら興味深くお話を聴くことができました。また、黒部川扇状地の成り立ちを地質学的な見地から詳しく教えてくださいました。特に、河岸段丘を俯瞰して見ることができるドローンによる空撮映像は見応えがありました。黒部川の河道が変わっていったことや越乃湖が消滅したことなど、盛り沢山の内容の講演だったと好評でした。



地球は丸いことを証明

富山湾に沈む夕日の動画



### 受章おめでとうございます

#### 大田 弘氏 旭日中綬章

黒部市宇奈月町出身で本研究所会員である大田弘様が、今年度の春の叙勲において旭日中綬章を受章されました。旭日中綬章は、国家または公共に対し顕著な功績を挙げた方に授与される勲章です。大田様は、株式会社熊谷組の代表取締役社長・会長、一般社団法人日本建設業連合会の役員を歴任され、建設業界における長年のご功績が評価されての受章となりました。

大田様には本研究所の2017年度の春季研究例会で『「クロヨン」が遺したものー志の連鎖ー』の演題でご講演いただきました。（研究紀要第43号収録）今回の夏季研究例会で受章が報告され、出席者から祝福の拍手が贈られました。



## 8/18(月)～21(木) 黒部川源流調査II

昨年度に引き続き、3泊4日の日程で、黒部川源流調査が行われ、7名の会員が参加しました。今年度は、ランプの宿の高天原山荘に宿泊し、大東新道を踏破するとともに環境DNAの調査用の水も採取しました。

この調査の様子については、11月8日(土)に開催される秋季研究例会で報告される予定です。



足下には注意して！



雲上の庭園が目の前に



ランプの宿の高天原山荘にて

## 9/14(日) かがんぼしいの里で稲刈り体験



当日は、あいにくの雨模様となりました。はじめに水田の一角を鎌で刈り取り、束にまとめて「はさがけ」をする作業を行いました。その後、「千歯こき」による脱穀、「唐箕」による選別、摺り鉢による粃摺りなど、昔ながらの農機具を使った作業を体験することができました。この水田で収穫されたお米を用いて、10月4日(土)に収穫祭が行われる予定です。



千歯こきで脱穀



唐箕で選別



摺り鉢で粃摺り

### 今後の活動予定



- **10/25(土) 扇状地眺望登山②(負釣山)**  
 集合:8:20 舟見バーデン明日前公園  
 ※参加費 500円(保険代含む)  
 弁当・飲み物は各自で持参 予備日 11/3(祝)
- **11/8(土) 秋季研究例会**  
 13:30～16:40 うるおい館イベントホール1  
 ・研究発表「トンボの羽から未来へ」  
 入善西中学校2年 笹島 浩聖 君  
 ・調査報告「黒部川源流調査II」  
 上島 俊晴 研究員  
 ・講演 演題「水田農業の将来像を考える」  
 講師 富山県 副知事 佐藤 一絵 氏
- **11/21(金) 扇状地カフェ②**  
 18:30～20:30 うるおい館イベントホール3  
 「黒部川扇状地右岸の野鳥について」  
 講師:伊林早苗・本瀬薫・石原裕美 研究員  
 参加費 2,000円(食事代含む)